

## 1 指導目標

- (1) 日本語に慣れ、日本語の正しい表記が身に付くようにする。
- (2) 助詞の「わ」と「は」、「お」と「を」、「え」と「へ」の使い方を知り、文の中で使えるようにする。
- (3) 「仮名遣い」「伸ばす音」等の基本的なルールを理解し、正しく使えるようにする。

## 2 指導内容

- (1) 助詞の「～は」は「わ」と発音し、「～へ」は「え」と発音することを理解した上で、正しく表記し、短文を作らせる。
- (2) 仮名遣い「じ」「ず」「ぢ」「づ」の使い方を理解し、正しく表記させる。
- (3) 伸ばす音のルールを理解し、使わせる。

## 3 指導計画

時間	主な学習内容	指導上の留意点
1	<p>○助詞の使い方に慣れる。</p> <p>「わ」と「は」、「お」と「を」、「え」と「へ」の文中の使い方を知り、何回も読んで書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読むとき 「わたしわ こうえんえ おとうさんお さがしに いった。」と読む。</li> <li>・書くとき 「わたしは こうえんへ おとうさんを さがしにいった。」と書く。</li> <li>・「～は」(なになにわ)のときは、「くっつきのわ」で「わ」と発音し、「は」と書く。</li> <li>・「～を」も「お」と発音し「を」と書く。</li> <li>・「～へ」も「え」と発音し、「へ」と書く。</li> </ul> <p>○基本的な文型を、口頭で言え、正しく書けるように、反復練習をする。</p> <p>○仮名遣い「ぢ」「づ」の使い方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として「じ」「ず」で表記されるが、例外がいくつかあることを知る。</li> <li>(例外1) 同音の連呼によるもの 縮む→ちぢむ 続く→つづく</li> <li>(例外2) 二語の連合によるもの 湯飲み・茶碗→ゆのみぢやわん 小・包→こづつみ 鼻・血→はなぢ かな・遣い→かなづかい 小・遣い→こづかい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わ」「え」「お」のところに、「が」を入れてみて、おかしくない場合には「は」「へ」「を」と書く。声に出して読ませる。</li> <li>・単語で文を組み立てるとき、単語の後に、「が」を付ける。</li> <li>・「くっつきの『は』」「くっつきの『を』」「くっつきの『へ』」の書き方と、単語の中に出る「わ」の違いを指導する。(「わには、こわい」等)</li> <li>・「わ」「は」「お」「を」「え」「へ」のカードや、絵カードを用意する。 「～は」「～へ」「～を」のカードを用いて文を作り、書き方の練習をする。</li> <li>・発音するときは「ジ」「ズ」でも、書くときは「ぢ」「づ」と書く言葉を読んだり書いたりして練習させる。</li> <li>・表記の規則を教え込むのではなく、正しい表記をカードやプリントで掲示して指導する。文字カードや、絵を手掛かりに覚えさせる。</li> </ul>
2	<p>○伸ばす音のルールが分かり使える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あ段」の長い音は「あ段」の文字に「あ」</li> <li>・「い段」の長音→「い」 例「おじいさん」</li> <li>・「う段」の長音→「う」 例「ふうせん」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伸ばす音の決まりと例外を示す。  <b>※おばあさん</b>  <b>※にいさん・しいたけ</b>  <b>※すうじ・ゆうだち・ゆうびん</b> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「え段」の長音→「い」 例「けいさつ」</li> <li>・「お段」の長音→「う」 例「とうきょう」</li> </ul> <p>○「え段」の長音は、普通「え段」の文字に「い」を付けて書くが、「え段」の文字に「え」を付けて書く<b>例外</b>の言葉を覚える。</p> <p>○「お段」の長音は、普通「お段」の文字に「う」を付けて書くが、「お段」の文字に「お」を付けて書く例外の言葉を覚える。</p> <p>○歌を歌いながら、長音を楽しく発音練習し、書けるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぞうさん」を歌いながら長音を覚える。 ♪『ぞうさん ゾウさん お鼻がながいのね。 そよかんさんも 長いのよ。』</li> </ul> <p>○♪『遠くの、大きな、氷の上を、多くの、狼、十ずつ 通った。』(「お段」で<b>例外として「お」</b>と書く言葉の例を「お馬の親子」の替え歌で歌いながら覚える。)</p>	<p>※とけい・せんべい・だいがくせい ※ようふく・そうじ・べんとう (例外) *お姉さん→おねえさん *感動詞の「ええ」「ねえ」「へえ」「そうねえ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例外として【おお】【こお】【とお】と書く言葉、「多い→おおい」「狼→おおかみ」「大きい→おおきい」「覆う→おおう」「氷→こおり」「凍る→こおる」「通る→とおる」「頬→ほお」「炎→ほのお」等の正しい表記を書いて覚える。</li> <li>・「ぞうさん」を歌いながら長音を覚える。</li> </ul> <p>・♪『とおくの 国国きな こおりの 上を ♪ 国国くの 国国かみ と国ずつ と国った。』と楽しく歌いながら覚える。</p> 
--	--	--

## 4 指導のポイント

- (1) 現代仮名遣いでは、音と、仮名の対応の単純化が図られているが、本单元では基本や例外をまとめて教えるようにする。繰り返し何度も聞かせることで耳に慣れさせる。易しい文章で、たくさん練習し、正しい表記に慣れさせ、定着させる。
- (2) 日本語の力を付けるために基本になるのが、文法や正しい表記法である。発音と表記を合わせながら指導し、特別な場合を覚えさせる。

## 5 期待される成果

- (1) 助詞の使い方、仮名遣い、伸ばす音等の言葉のルールの基本が分かり、文章が理解できるようになる。
- (2) 言葉のルールを理解し、何回か書いて練習させ、書き言葉をしっかりと身に付けさせる。書くことで語彙が増え、日本語力が付き、文章を書く意欲が出てくると考える。

## 6 補充・発展的な学習課題

「こそあど言葉」「重ね言葉」「つなぎ言葉」等に発展させ、語彙を増やし、日本語力を付ける。

## 7 実践例

### ○中国語を母語とする児童

言葉の決まりを繰り返し練習したところ、言葉の決まりや仮名遣い、表記を覚え、簡単な文章が書けるようになってきた。日本語の学習に自信が少しづつ出てきたとのこと。移動教室の作文も書くことができた。

かなづかに「し」も「あ」、「が」も「お」「え」も「く」の使い方  
 一・たたじい かなづかに〇をつけるよ。

{ 〔 〕 じなん  
〔 〕 がなん

{ 〔 〕 かんじ  
〔 〕 かんぢ

{ 〔 〕 はなし  
〔 〕 はなぢ

{ 〔 〕 みかすき  
〔 〕 みかづき

{ 〔 〕 かじる  
〔 〕 ちぢむ

{ 〔 〕 おひつかい  
〔 〕 おひづかい

◎この本の

つかさ  
づき

おを

はやく もみたい。

◎この本の

わは

とても

まづかしい  
まづかしい

ので

すこしずつ  
すこしづつ

読んでいる。

◎くわ

おを

まれいに

かたづける  
かたづける

二・のはす

「あ」のだん

→ 「あ」をつける。

お □ □ □ さ □ ん

「い」のだん

→ 「い」をつける。

お □ □ □ さ □ ん

「う」のだん

→ 「う」をつける。

あ □ □ □ □

「え」のだん

→ 「い」をつける。

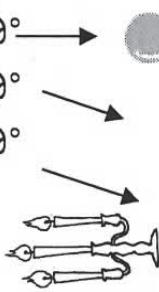
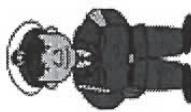
け □ □ □ □

「お」のだん

→ 「う」をつける。

け □ □ □ □

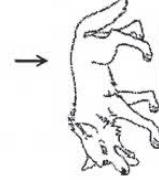
あ □ □ □ □



お □ □ □ □

「ひびく」

「お」→「お」そのまま



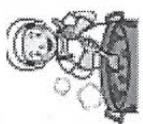
お □ □ □ □



ち □ よ □ □ □



ぶ □ □ □

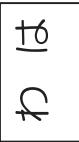
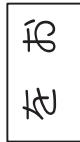
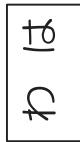
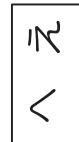
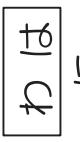
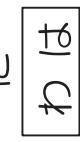
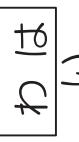
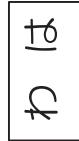
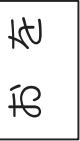
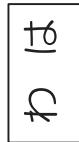
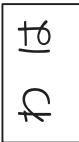


り □ よ □ □



き □ ゆ □ □

「わ」も「せ」、「ね」も「を」「え」も「く」の使い方  
ー・ただしこ もじを 口を つかまつや。

- ① わたし  いっせん  おひれん  さかしに いつた。
- ② ほく  かわ  いが わかな  とりがした。
- ③   に  こ  い です。
- ④ だらうくん  にもつ  もつ。
- ⑤  だしの なまえ  山田 やまだ はなこ です。

ー・口のなかに ただしこもじを かまつや。

- |                         |
|-------------------------|
| ① ライオン わ みのる です。        |
| ② うた お うたうます。           |
| ③ いっせん え いって え お かまつや。  |
| ④ ほん お かいに ほんやん え いれます。 |
| ⑤ ねこあやん わ りゅう お くびます。   |